

財政問題

問 財政健全化のための施策は

答 健全財政プロジェクトにより進める



松沢貞一議員

【財政改革】

問 財政健全化への取り組みについて伺います。

村長 無駄を省いた健全行財政プロジェクトと位置づけ、定員適性化計画や事務事業評価制度により経常経費の削減を図り、効果的な行政運営に努めています。また集中改革プランにより堅実な財政運営や事業の厳選、自主財源の確保に努めています。

問 公債費負担の軽減について伺います。

村長 公債費負担適性化計画に基づき利率の高い起債の借換え、繰上償還や起



深空老人クラブによる花壇整備

債借入を厳選し、平成24年度には実質公債費比率が18%を下回る計画です。

問 村税滞納について伺います。

村長 平成19年度の村税未収額は9億3千7百万円で大口滞納者の割合が大きい。平成20年度の滞納処分は、差押えが不動産24件、動産2件、預金28件、所得税還付金8件で、抵当権設定3件、公売7件、各種調査250件です。長期、高額滞納者には厳しく踏み込んだ納税相談を実施、誠意の見えない滞納者に対しては積極的に担保の徴収、滞納処分をしていくことで、納税の不公平感や不信感の払拭に努めています。

問 特別会計事業の見通しについて伺います。

村長 国民健康保険事業勘定、後期高齢者医療特別会計は、景気低迷や医療費の増加によりいずれも大変厳しい運営が予想されます。下水道事業、農業集落排水事業特別会計は、起債の償還が平成31年度まで今の水準が続き、以降減り始めますが、施設の

老朽化による維持管理費の増加が予想され、繰入金の減額は厳しいと思われます。

【行政区への未加入問題】

問 28%に上る未加入世帯の解消にどう取り組みのかが伺います。

村長 自立と協働の村づくりや負担の公平性を実現するためには行政区への加入は必要不可欠であり、加入率の向上の施策を進めなければならぬ。行政区の活動を理解していただくために地域役員懇談会を充実し、有効に活用することや、先進自治体の加入促進条例等の参考事例の研究を進めたい。また特に名鉄白馬分譲地域は110世帯を超えている状況で、行政区の設置を期待しています。

